

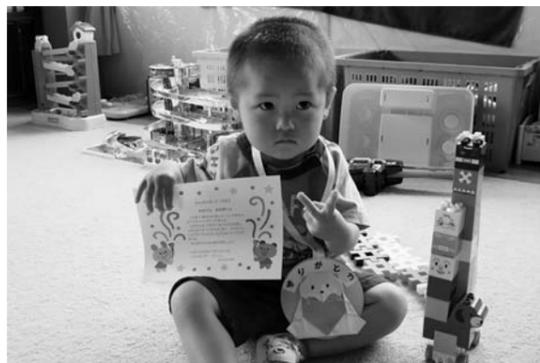
お盆を過ぎると朝晩の風や、虫たちの鳴き声に秋の気配を感じるようになりました。季節の移り変わりは、子どもたちの成長に負けないくらい早いものですね。この時期はたくさん遊んだ夏の疲れがたまり、体調を崩しやすくなりますので、バランスの良い食事と睡眠で乗り切りましょう！

☆ぷっこクラブ☆

7月8日(火)と15日(火) どんごろ野外学校へ遠足と消防支署へ見学に出かけました。どんごろ遠足では、川を渡り秘密基地を探検し、大きな木の下でハンモックやブランコにゆられながら、のんびりと過ごしました。消防支署見学では、お母さんと一緒に消火訓練、火の用心！真っ赤な消防車はカッコいいね。

☆ふれあいルーム・おもちゃライブラリー☆☆

今年度より参加カードを作成し、来所時には自分でシールを貼ってがんばっています。そんな中、トップをきって2冊目に突入したお友達もいます。お母さんや子ども同志の交流の場、子育ての悩みを相談できる場として支援センター室に遊びに来ませんか？



保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

湖水祭りに参加する年長組と年中組は、練習を重ねステージでの発表を楽しみに頑張っている毎日です。お祭り当日は台風のせいで雨降り・・・でも子供たちの着替えのころから晴れてきてかわいい笑顔を振りまいてくれました。



金山保育所

プールで泳いだりジョーロで水を汲んだりしてとっても楽しんでいます。水遊びが楽しい季節で、みんないい笑顔です！



こんにちは
保健師です！
保健福祉課保健指導係
☎52-2211

9月は「がん征圧月間」です！



がん征圧月間

厚生労働省は、がんとその予防について正しい知識と早期発見・早期治療の普及のため昭和35年から毎年9月を「がん征圧月間」と定めています。

今月号では、「がん」についてお知らせします。

◆がんの動向◆

平成24年にがんで亡くなった人は、全国で約36万人で、死亡総数の約3割を占めています。昭和56年に脳卒中を抜いて、死因のトップとなって以来、増え続けています。

◆がん検診の目的は

がん検診の目的は、がんを見つけることだけでなく、がんを見つけて、早めの治療で死亡率を低下させることを目的に実施されています。

また、がんになる前段階の病気を見つけることで、必要に応じて治療し、がんになることを防ぐことができる場合もあります。

これまでの研究によって、胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法による検診で、早期に発見でき、治療を行うことで、死亡率が低下することが科学的に証明されています。

早期に見つければ、がんは決して怖い病気ではありません。「精密検査が必要」と判定されたら、早期がんを見つかるチャンスと考え、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも精密検査を受けるようにしましょう！

☆科学的な根拠に基づいた検診 ☆

医療では、研修を通して科学的に証明された手法がもっとも客観的で優れているということで、「科学的根拠に基づいた医療」の実践が常識になっています。対象となる方は、ぜひ検診を受けましょう。

科学的に有効と証明されたがん検診

対象臓器	効果のある検診方法	町の検診の実施状況	
		実施の有無	対象年齢
胃	胃X線検査(胃バリウム検査)	南ぶミニドックにて実施 ※毎年6月、10月頃実施	35歳以上
肺	胸部X線とハイリスク者に対する喀痰細胞診の併用	南ぶミニドックにて実施 ※毎年6月、10月頃実施	40歳以上
大腸	便潜血検査又は大腸内視鏡	便潜血検査のみ 南ぶミニドックにて実施 ※毎年6月、10月頃実施	40歳以上
子宮頸部	子宮頸部細胞診	乳がん・子宮がん検診にて実施 (毎年4月頃実施)	20歳以上 ※2年に1回対象
乳房	視触診とマンモグラフィ(乳房X線)の併用		40歳以上 ※2年に1回対象

